

【学年】 2年【教科・単元名など】生活科 「おいしくそだて わたしの野菜い」  
— さつまいも パーティーをひらこう —

【実践内容】

○単元目標

- ・野菜の栽培に関心を持ち、世話の仕方を調べながら、継続的に世話をすることができる
- ・野菜の成長に気付き、変化の様子や気持ちを表現できる。
- ・収穫の喜びを味わい、食べ方を工夫することができる。
- ・野菜の成長やお世話したことを振り返るとともに、1年生と進んで交流することができる。

【実践の概要】

○学習の展開

- ① 自分たちの育てる野菜を決め、野菜の世話の仕方などについて、いろいろな方法で調べる。
- ② 世話をして気づいたことや自分の思いなどを、記録カードにまとめる。
- ③ 熟している野菜を見分け、収穫する。
- ④ みんなで育てたサツマイモを収穫する
- ⑤ 収穫したサツマイモを安全に調理して、食べる。
- ⑥ 記録カードなどを材料に、友だちと話し合いながら、これまでの栽培のことを振り返る。

○知的好奇心について

野菜の種や苗を、大きく美味しく実が生るように育てるには、世話をしなければならぬことを子どもたちは、日頃の経験から知っている。しかし、どのような植え方、世話の仕方は、正確には知らない。そこで、図書室に行き調べたり、家の人に聞いたり、家から本を持ってきてたりして、世話の仕方を知り、野菜を育てて、収穫することができた。また、サツマイモの収穫では、他の野菜と違い実が地中にできること、つるが長くのびることを知ることができた。

サツマイモを収穫して、1年生と一緒に「さつまいもパーティー」を開きたいという願いが子どもたちからでてきた。そこでどんなパーティーにするのか、話し合った。サツマイモを料理して食べてもらいたいという案が出て、料理名もたくさんでた。調理方法を、図書室に行ったりパソコンで調べたり、家の人に聞いたり、家から本を持ってきてたりして、調べた。その中から、自分たちでできる料理を選んで料理をして、パーティーを開いた。

○子どもの様子・反省

自分たちが、野菜を育て収穫し、調理してそれを食べることは、とても興味があることであった。自ら、育て方を調べることができた。ただ、図書室に調べたい物の資料が少なかったり、パソコンで調べようとしても内容が難しかったり、調べるのに少し時間がかかってしまった。

料理については、子どもたちの思いを大切にできなかったため、クラスで同じ料理ではなく、自分たちで作りたい料理を作ることにした。そのため、調理方法を、一生懸命調べるすることができた。ボランティアの方の協力を得ながら調理して、パーティーを開くことができた。

ただ、学校でできる料理（油で揚げる・生で食べる・45分以内でできるものなど）を絞っていかせるときの発問がよくなかったため、料理を決めるのに時間がかかってしまった。「発問」「一人一人の見取り」がとても大切なことが、身にしみた。